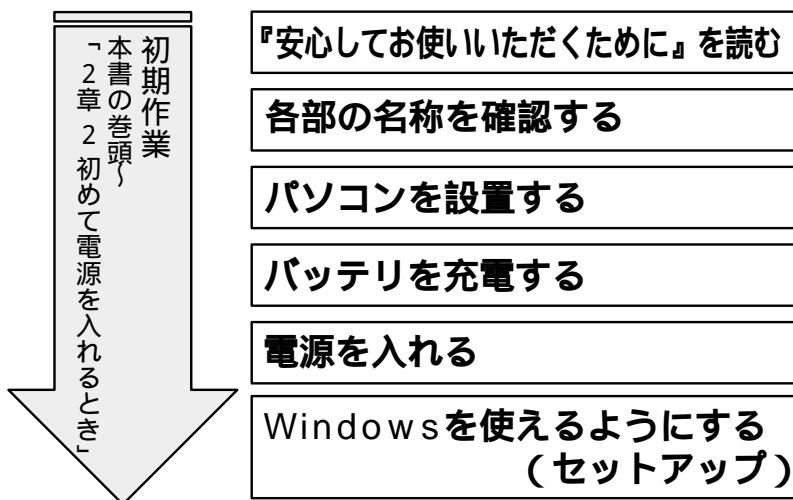




マニュアルの使い方

① 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書）

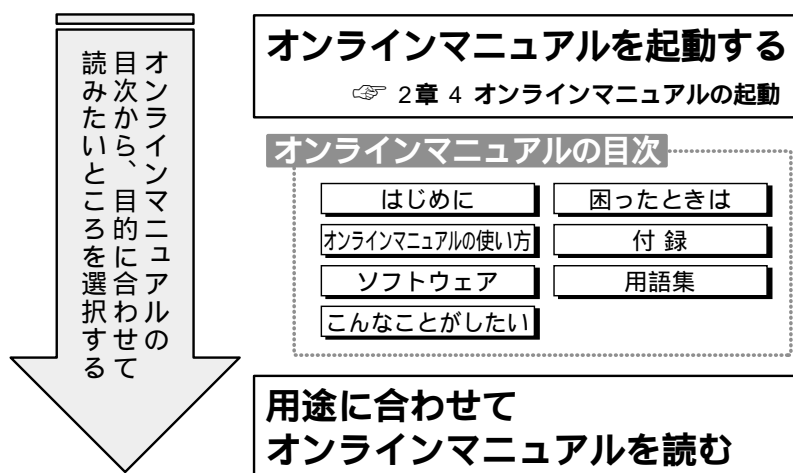
☞ 目次は次ページ



Windows のセットアップ終了後、Windows の使い方については、各システムに付属の説明書（『ファーストステップガイド』など）または『Windows のヘルプ』をご覧ください。

② 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル

オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。



本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。
また、同梱されているほかの説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。

● リリース情報について

本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。
ご覧になるには [スタート] メニュー - [はじめに] - [リリース情報] を選択します。



目次

マニュアルの使い方	1
1 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書 (本書)	1
2 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル	1
目次	2
はじめに	8
本書の読み方	13
日常の取り扱い	15
1 章 電源を入れる前に	21
1 各部の名称	22
2 周辺機器の接続場所	24
3 パソコンの準備	26
1 パソコンを快適に使うには	26
2 電源に接続する	28
3 ディスプレイを開ける	29
4 電源に関する表示	30
4 バッテリーの充電	31
1 バッテリー駆動で使うために	31
2 バッテリーの充電	31
3 バッテリーに関する表示	32
5 アクュポイント とコントロールボタンの使い方	33
6 キーボード	34
7 サウンド	42
1 スピーカの音量を調整する	42
2 システムスピーカについて	44

2章	電源を入れて切るまで	45
1	電源を入れる	46
2	初めて電源を入れるとき	48
1	Windows 98のセットアップ	48
2	Windows 95のセットアップ	54
3	Windows 2000のセットアップ	59
4	Windows NTのセットアップ	67
5	ユーザ登録をする	75
3	電源を切る	76
1	Windows 98の場合	77
2	Windows 95の場合	81
3	Windows 2000の場合	84
4	Windows NTの場合	87
4	オンラインマニュアルの起動	89
3章	パソコンを持ち歩く	91
1	バッテリーを使う	92
1	バッテリー充電量の確認をする	92
2	バッテリーの使用時間	94
3	時計用バッテリー	95
4	バッテリーパックを交換する	95
2	バッテリーを節約する	98

4章	ハードウェアについて	99
1	周辺機器の取り付けについて	100
2	マウスの接続	101
	1 PS/2 マウス	101
	2 シリアルマウス	101
3	フロッピーディスク装置	103
	1 フロッピーディスク	103
	2 フロッピーディスクのセットと取り出し	104
	3 フロッピーディスクのフォーマット	105
4	CD-ROM 装置	108
	1 CD	108
	2 CDのセットと取り出し	108
5	PCカード	112
6	増設メモリ	117
7	LANの接続	120
	1 適正なケーブルの確認	120
	2 LANケーブルの接続	120
	3 Windows 98 / 95のネットワーク設定について	121
	4 Windows 2000のネットワーク設定について	124
	5 Windows NTのネットワーク設定について	126
8	USB 機器の接続	130
9	テレビへの接続	131
10	プリンタの接続	133
11	CRTディスプレイの接続	134
12	外付けキーボードの接続	137

5章	便利な機能	139
1	消費電力を節約する	140
1	省電力ユーティリティ (Windows 98).....	140
2	省電力ユーティリティ (Windows 95).....	144
3	省電力ユーティリティ (Windows 2000).....	148
4	省電力ユーティリティ (Windows NT).....	152
2	Toshiba Hardware Setup	155
1	Toshiba Hardware Setup (Windows 98 / 95).....	155
2	HWセットアップ (Windows 2000 / NT).....	156
6章	システム構成とパスワードセキュリティ ...	157
1	システム構成の設定	158
1	セットアッププログラムを起動する方法	158
2	セットアッププログラムを終了する方法	159
3	セットアッププログラムの画面	160
4	設定項目	162
2	パスワードセキュリティ	172
1	ユーザパスワード	173
2	スーパーバイザパスワード	176
3	パスワードの入力	181

7章 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方 ... 183

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 184
 - 1 カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 / 95 モデル)..... 184
 - 2 リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT モデル)..... 184
- 2** 標準システムを復元する 185
 - 1 準備 185
 - 2 操作手順 185
- 3** 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 / 95 モデル)... 188
 - 1 準備 188
 - 2 操作手順 188
- 4** アプリケーションを再インストールする (Windows 98 / 95 モデル)... 190
 - 1 操作手順 190

8章 困ったときは 191

- 1** 困ったときは 192
 - 1 Q&A 集を見る前に 192
 - 2 Q&A 集 192

付録	231
1 製品仕様	232
1 外形寸法図	232
2 サポートしているビデオモード	233
3 メモリマップ	235
4 I/O ポートマップ	236
5 DMA 使用リソース	237
6 IRQ 使用リソース	237
2 各インタフェースの仕様	238
1 PRT インタフェース	238
2 COMMS インタフェース	239
3 PS/2 インタフェース	239
4 RGB インタフェース	240
5 LAN インタフェース	241
6 USB インタフェース	241
さくいん	242



はじめに

このたびは、DynaBook Satellite 4360 シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。

本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

また本製品には、このマニュアルの他に、DynaBook Satellite 4360 シリーズオンラインマニュアル（以降、本書中ではオンラインマニュアルと記述します）が用意されています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使い方などは、オンラインマニュアルをご覧ください。

☞ オンラインマニュアル ☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

☞ リリース情報 ☞ 「マニュアルの使い方 リリース情報について」

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定に関しては、「5章 1 消費電力を節約する」をご覧ください。

FCC NOTICE

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment generates is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

WARNING: *Changes or modification made to this equipment, not expressly approved by Toshiba, or parties authorized by Toshiba, could void the user's authority to operate the equipment.*

TOSHIBA



EU Declaration of Conformity
EU Übereinstimmungserklärung
Déclaration de conformité UE
Declaración de conformidad de la UE
Dichiarazione di conformità UE
EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PS436* conforms to the following Standards:

Toshiba erklärt, daß das Produkt: PS436* folgenden Normen entspricht:

Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PS436* est conforme aux normes suivantes:

Toshiba declaran que el producto: PS436* cumple los siguientes estándares:

Toshiba dichiara, che il prodotto: PS436*, é conforme alle seguenti norme:

Toshiba intygar att produkten: PS436* överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information:	“The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”
Weitere Informationen:	“Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”
Informations complémentaires:	“Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”
Información complementaria:	“El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”
Ulteriori informazioni:	“Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”
Ytterligare information:	“Produkten uppfyller kraven enligt läspänningsdirektiver 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

Notice to user of EN55022

Warning

This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio Interference in which case the user may be required to take adequate measures.

東芝 CD-ROM ドライブ XM-1902B

安全にお使いいただくために

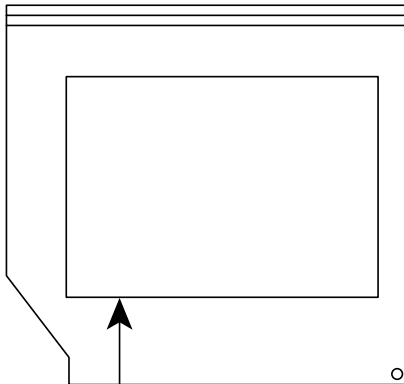
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で
“クラス1レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
TO EN 60825-1
クラス1レーザー製品

Location of the required label



PRODUCT IS CERTIFIED BY THE
MANUFACTURER TO COMPLY
WITH DHHS RULES 21 CFR
SUBCHAPTER J APPLICABLE AT
THE DATE OF MANUFACTURE.

MANUFACTURED:

TOSHIBA CORPORATION
1-1, SHIBAURA 1-CHOME
MINATO-KU, TOKYO 105-8001,
JAPAN

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

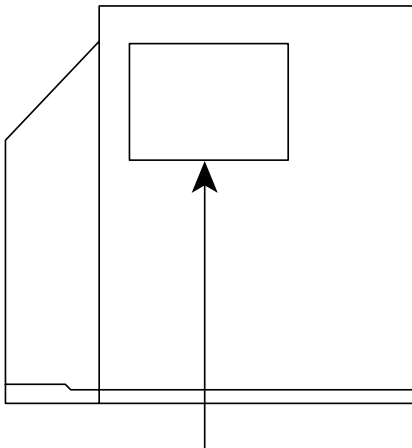
⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で
“クラス1レーザ機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この
装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因に
なります。信頼性、安全性、性能の保証をすることが
できなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあり
ます。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、
障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故
障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシ
ステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN
OPEN DO NOT STARE INTO BEAM OR
VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL
INSTRUMENTS
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG,
WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT
IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT
MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN
VARNING - OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR
DENNA DEL ÄR ÖPPNAD STIRRA EJ IN I
STRÅLEN OCH BETRAKTA EJ STRÅLEN
MED OPTISKA INSTRUMENT

Location of the required label



CERTIFICATION: THIS
PRODUCT COMPLIES WITH
DHHS RULES 21 CFR CHAPTER
1, SUBCHAPTER J APPLICABLE
AT DATE OF MANUFACTURE.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

TEAC CORPORATION
3-7-3, NAKA-CHO,
MUSASHINO-SHI,
TOKYO, JAPAN

● Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ PS/2、XGA は、IBM Corporation の商標または登録商標です。
- ・ SoundBlaster は米国 Creative Technology 社の商標です。
- ・ Intel、Pentium、インテル、インテル SpeedStep は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ CardWizard は米国 SystemSoft Corporation の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

● お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。

パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。


本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。


お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本書の読み方

記号の意味

 **警告** ・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

 **注意** ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ


・知っておくと便利なことを説明しています。





本書は、Windows 98、Windows 95、Windows 2000 / NTモデルに共通の取扱説明書です。


それぞれの固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。


ご購入の製品に応じた部分をお読みください。

 **98** Windows 98 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

 **95** Windows 95 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

 **2000** Windows 2000 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

 **NT** Windows NT の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

(注) 補足説明をしています。

画面の表示方

画面の全部、または一部を表示します。




【例】

Total = x x x x KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを で囲んで書いています。

- Y** キーを押す  を押してください。
- 1** キーを押す  を押してください。
- Space** キーを押す  (スペースキー)を押してください。

● 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Y キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Fn + **Ins** キーを押す

この場合は、**Fn** キーを押したまま **Ins** キーを押します。

● 用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 98 Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。

Windows 95 Microsoft® Windows®95 operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows NT Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME2000、Microsoft® IME98、Microsoft® IME97 を示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》をご覧ください。

☞ オンラインマニュアル ☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」



日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

● パソコン本体



注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

ディスプレイは静かに閉じてください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 5 ~ 35 、湿度 20 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。

汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。

記録した内容が消える恐れがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。

本やノートなど重いものを上に置かないでください。

使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5 ~ 35	4 ~ 53

ラベルは正しい位置に貼ってください。

貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。

ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。

保管の際は、プラスチックケースに入れてください。

食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。

他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

● フロッピーディスク装置

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にフロッピーディスク装置をクリーニングしてください。

● コンパクトディスク（CD）

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。

CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CDの表面に文字などを書かないでください。

CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

CDの表面にシールなどを貼らないでください。CDが正常に回転しなくなり、CDの損傷などの原因になります。

● CD-ROM 装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。
市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にCD-ROM装置をクリーニングしてください。

● 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼって拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を入れる前にお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください(有償)。

● 液晶ディスプレイ

● 画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

● サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管(冷陰極管)は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素(欠け、常時点灯など)が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

● アキュポイント（ポインティング装置）

マウスポインタを動かすポインティング装置をアキュポイント といいます。アキュポイント は、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

また、次の場合、マウスポインタが移動することがあります。この場合は、マウスポインタが動かなくなるのを待ってから、アキュポイント を使用してください。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき
- ・温度が急激に変化したとき

● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

電源は必ず切ってください。

電源を切った後も、Disk  LEDが点灯中は動かさないでください。

急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。

外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。

また、フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。

落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。

故障の原因になります。

● カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD について

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

☞ 使用方法について ☞ 「7章 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方」

● 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

ACアダプタの仕様は次のとおりです。

入力：AC100V ~ 240V（1.50A ~ 0.85A）50/60Hz

出力：DC15V、4A

消耗品について

次の部品は消耗品です。

バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。

時計用バッテリー（交換は有償です）

アキュポイントキャップ

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

1

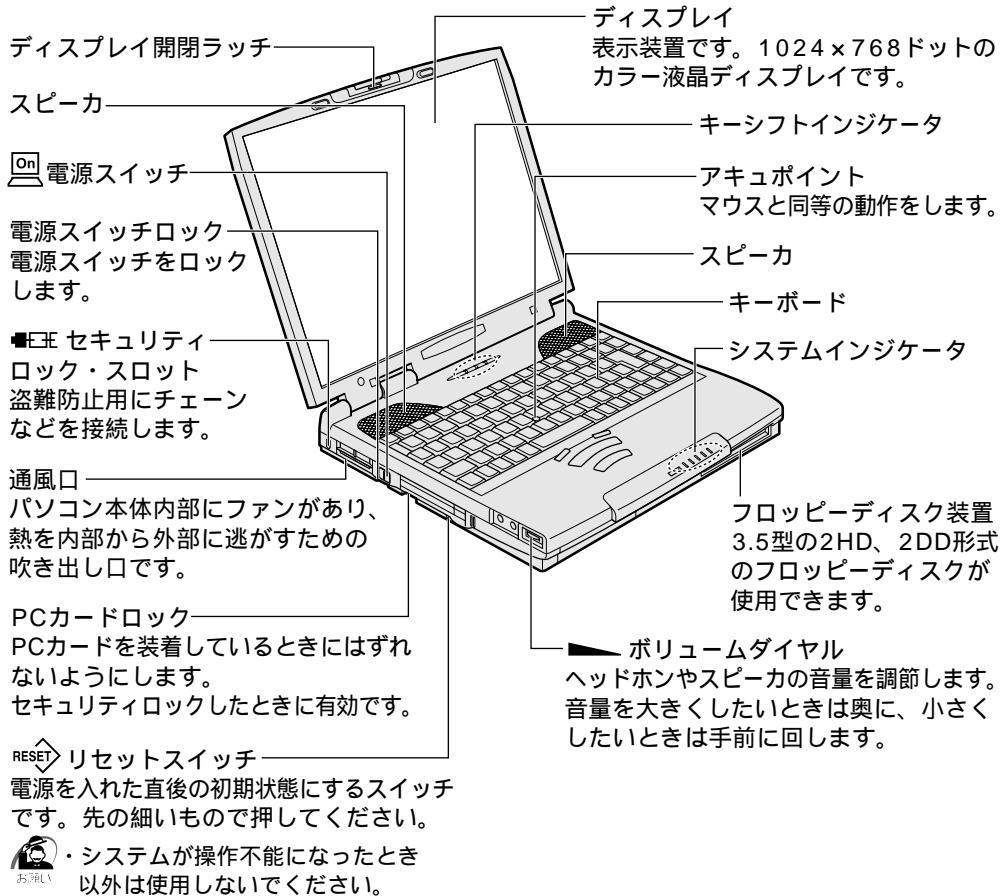
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

1	各部の名称	22
2	周辺機器の接続場所	24
3	パソコンの準備	26
4	バッテリーの充電	31
5	アキュポイント と コントロールボタンの使い方	33
6	キーボード	34
7	サウンド	42

1 各部の名称

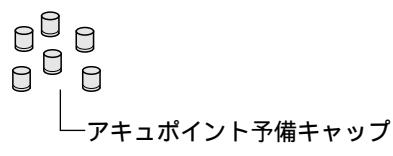
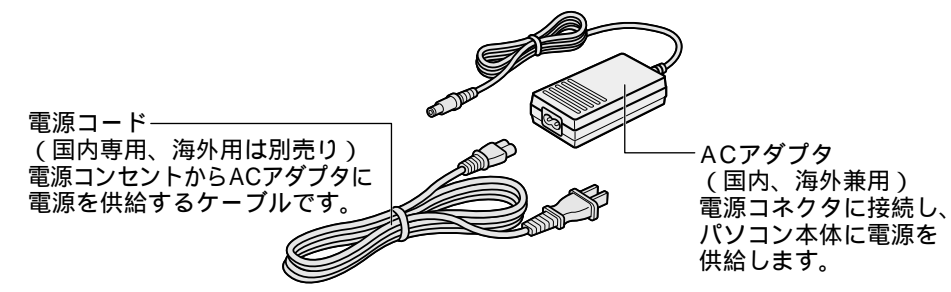
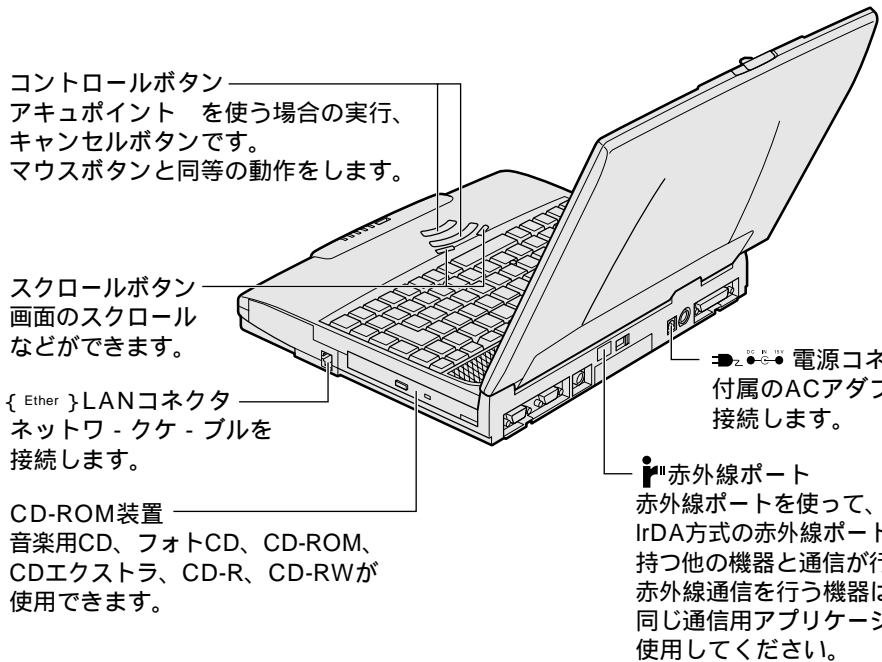
ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。周辺機器を取り付ける場所については、「本章 2 周辺機器の接続場所」で説明します。



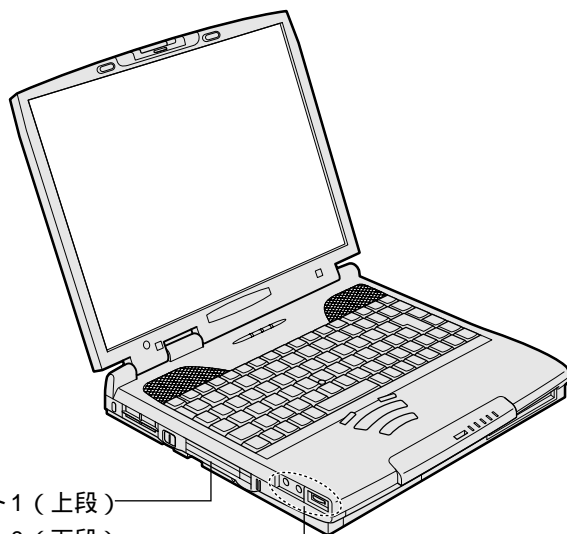
インジケータ

それぞれは、次の状態を示します。

キーソフトインジケータ		
	Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」 ☞ 「本章 6- 入力に関する制御キー」
	Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」 ☞ 「本章 6- Fnキーを使った特殊機能キー」
	Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」 ☞ 「本章 6- Fnキーを使った特殊機能キー」
システムインジケータ		
	DC IN LED	電源コードの接続 ☞ 「本章 3-4 電源に関する表示」
	Power LED	電源の状態 ☞ 「本章 3-4 電源に関する表示」
	Battery LED	バッテリーの状態 ☞ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」
	Disk LED	ハードディスク装置にアクセスしている
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスク装置がCD-ROM装置にアクセスしている

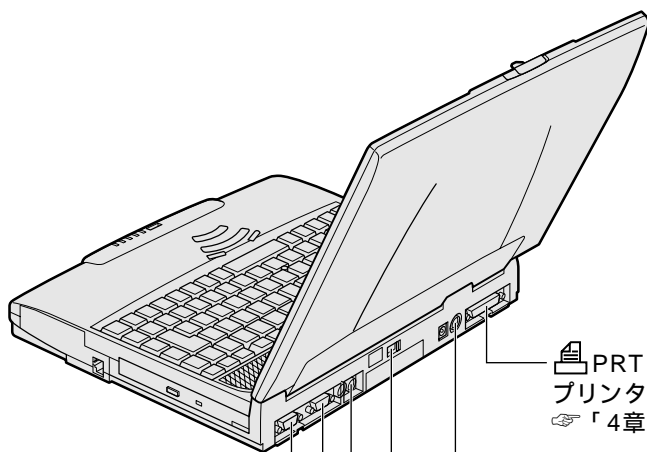


② 周辺機器の接続場所



- 1 PCカードスロット1 (上段)
- 0 PCカードスロット0 (下段)
PC Card Standard TYPE / /
準拠のカードを取り付けることができ
ます。また、CardBus対応カードを
取り付けることができます。
☞ 「4章 5 PCカード」

次ページの拡大図を
ご覧ください。

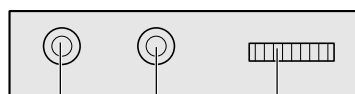
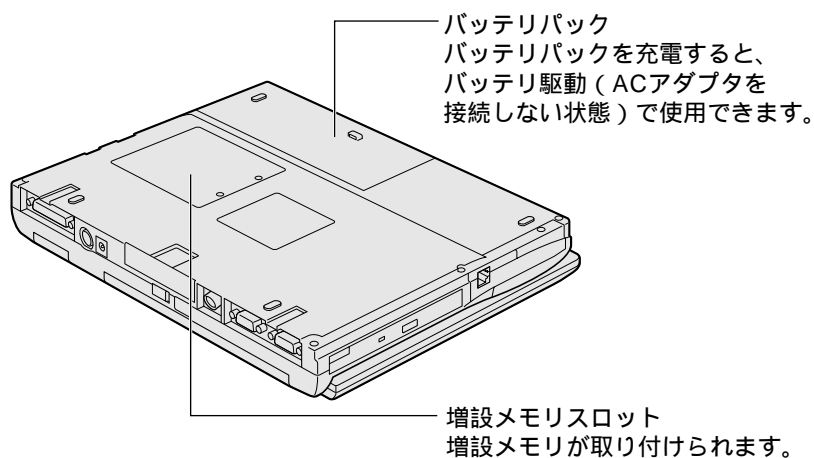


- [...] COMMSコネクタ
RS-232C規格の機器を取り付け
られます。マウスなどにRS-232C
規格のものがあります。
☞ 「4章 2 マウスの接続」
- RGBコネクタ
CRTディスプレイを接続して使用できます。
☞ 「4章 11 CRTディスプレイの接続」
- Video Out
▶ ビデオ出力端子
映像データの出力端子です。
NTSC/PAL規格対応のテレビなどを接続します。
☞ 「4章 9 テレビへの接続」

🖨️ PRTコネクタ
プリンタを接続して使用します。
☞ 「4章 10 プリンタの接続」

⌨️/🖱️ PS/2コネクタ
PS/2対応のキーボードやマウスを
取り付けることができます。
接続するときは、パソコン本体の
電源を必ず切ってください。
☞ 「4章 2 マウスの接続」
☞ 「4章 12 外付けキーボードの接続」

🔌 USBコネクタ
USB (Universal Serial Bus) 規格の
機器が取り付けられます。
Windows NT 4.0はUSBをサポートして
いません。
☞ 「4章 8 USB機器のの接続」



▶ ボリュームダイヤル
ヘッドホンやスピーカの音量を調節します。
☞ 「1章 7 サウンド」



ヘッドホン出力端子
ヘッドホンを接続します。音源はステレオで出力されます。
ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ(3.5)を使用してください。



・ 次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。
雑音が発生する場合があります。
・ パソコン本体の電源を入れる / 切るとき
・ ヘッドホンの取り付け / 取りはずしをするとき



マイク入力端子
マイクロホンを接続します。マイクロホンのプラグはモノラルミニジャック
タイプ(3.5)を使用してください。

3 パソコンの準備

本製品を使用するとき、照明や机・椅子の高さ、画面の角度などの調節次第で快適に作業することができます。正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

ここでは、安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

1 パソコンを快適に使うには

本製品を設置、使用する際には、次のことを守ってください。

● 設置する環境



警告 ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないください。
ショート、発煙のおそれがあります。



注意 ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないください。
パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。



お願い

・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないください。
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

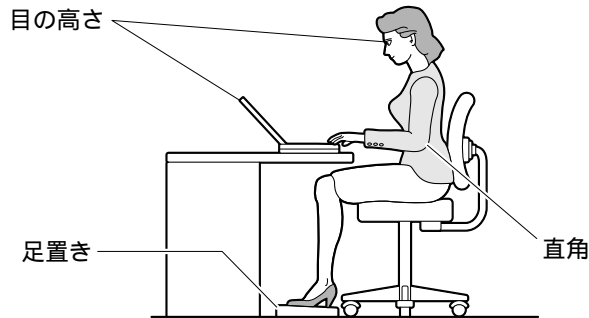
温度は5～35、湿度は20～80%の環境にする
急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
暖房器具などの熱いものの近くには置かない
腐食性の薬品のそばに置かない

● 使用時の環境

適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
おしりよりも膝が少し高くなるように座る
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。



● 照明

日光や照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体を置かない
なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

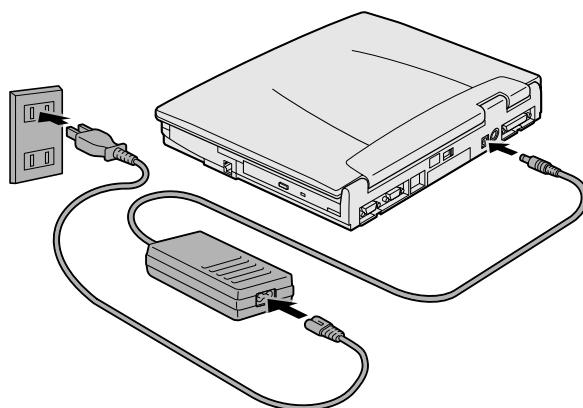
● 使用方法

リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
適度に姿勢を変える
時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
長時間画面を見続けないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。

2 電源に接続する

● 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は次の図の順に行います。はずすときは逆の順で行います。



電源コードを接続したら、DC IN LED が点灯するのを確認してください。

☞ 電源の入れかた ☜ 「2章 1 電源を入れる」

● 取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



- 警告**
- ・付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
 - ・海外で使用する場合は、別途電源コードをお買い求めください。
 - ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
 - ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。
 - ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



- 注意**
- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
 - ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



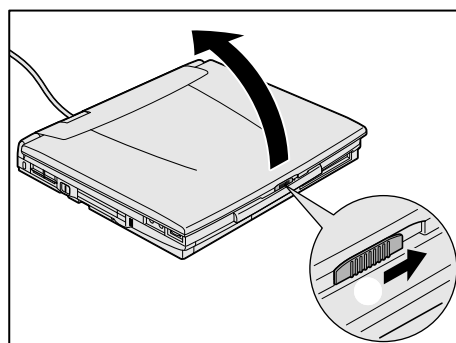
お願い

- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリーが温かくなることがありますが故障ではありません。

3 ディスプレイを開ける

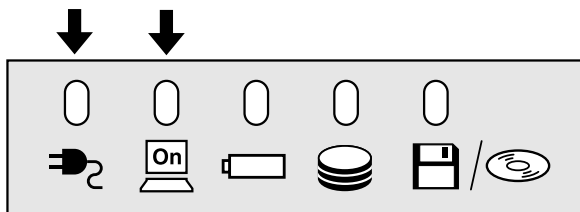
- 1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし、
ディスプレイを静かに起こす
この時、両手を使ってゆっくり起こしてください。







注意 ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
強く閉じると、衝撃でハードディスク装置やディスプレイなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

4 電源に関する表示

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、電源に関する表示です。



それぞれの意味は次のとおりです。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑	電源ON
	オレンジでゆっくり点滅	  : スタンバイ中   : サスペンド中
	消灯	電源OFF

4 バッテリーの充電

1 バッテリー駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。



充電を完了（フル充電）しなくても使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリーの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

● 充電方法


1 パソコン本体を電源に接続する


DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。

☞ 電源の接続 ☞ 「本章 3-2 電源に接続する」

2 Battery LED が緑色になるまで通電する

バッテリーが充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

☞ Battery  LED について ☞ 「本節 3 バッテリーに関する表示」

● 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源 ON 時	約 4 ~ 10 時間
電源 OFF 時	約 3 時間

（注）周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合など、パソコンの使用状況によってこの時間よりも長くなる場合があります。



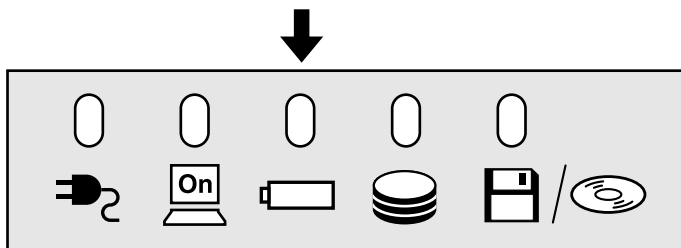
警告 ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。

- 注意**
- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
 - ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。発熱したり、サビなどのおそれがあります。
 - ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

3 バッテリーに関する表示

Battery LED で確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリーの状態を示すアイコンです。



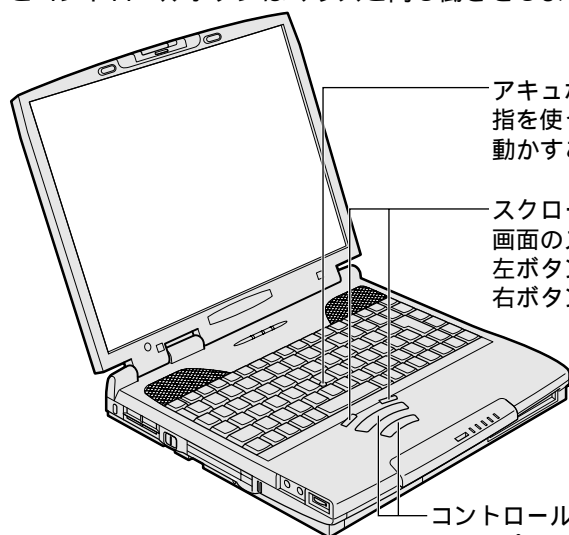
Battery LED は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーが接続されていない ・ACアダプタが接続されていない ・バッテリー異常

☞ バッテリーの詳細について ⇨ 「3章 パソコンを持ち歩く」

5 アクュポイント とコントロールボタンの使い方

Windows 画面上に表示される(マウスポインタ)を「マウスポインタ」といいます。アクュポイント やコントロールボタンを使って、マウスポインタを操作します。アクュポイント とコントロールボタンはマウスと同じ働きをします。



基本操作

キーボード中央の、アクュポイント に指を置きます。アクュポイント を押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

クリック	アクュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。
ダブルクリック	アクュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アクュポイント でマウスポインタを移動します(ドラッグ)。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します(ドロップ)。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。ボタンを押すと画面がスクロールします。



お願い

- 次の場合、アクュポイント を操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。
 - 電源を入れたとき
 - 一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたときこの場合は、マウスポインタが動かなくなるまで待ってから、アクュポイント を使用してください。

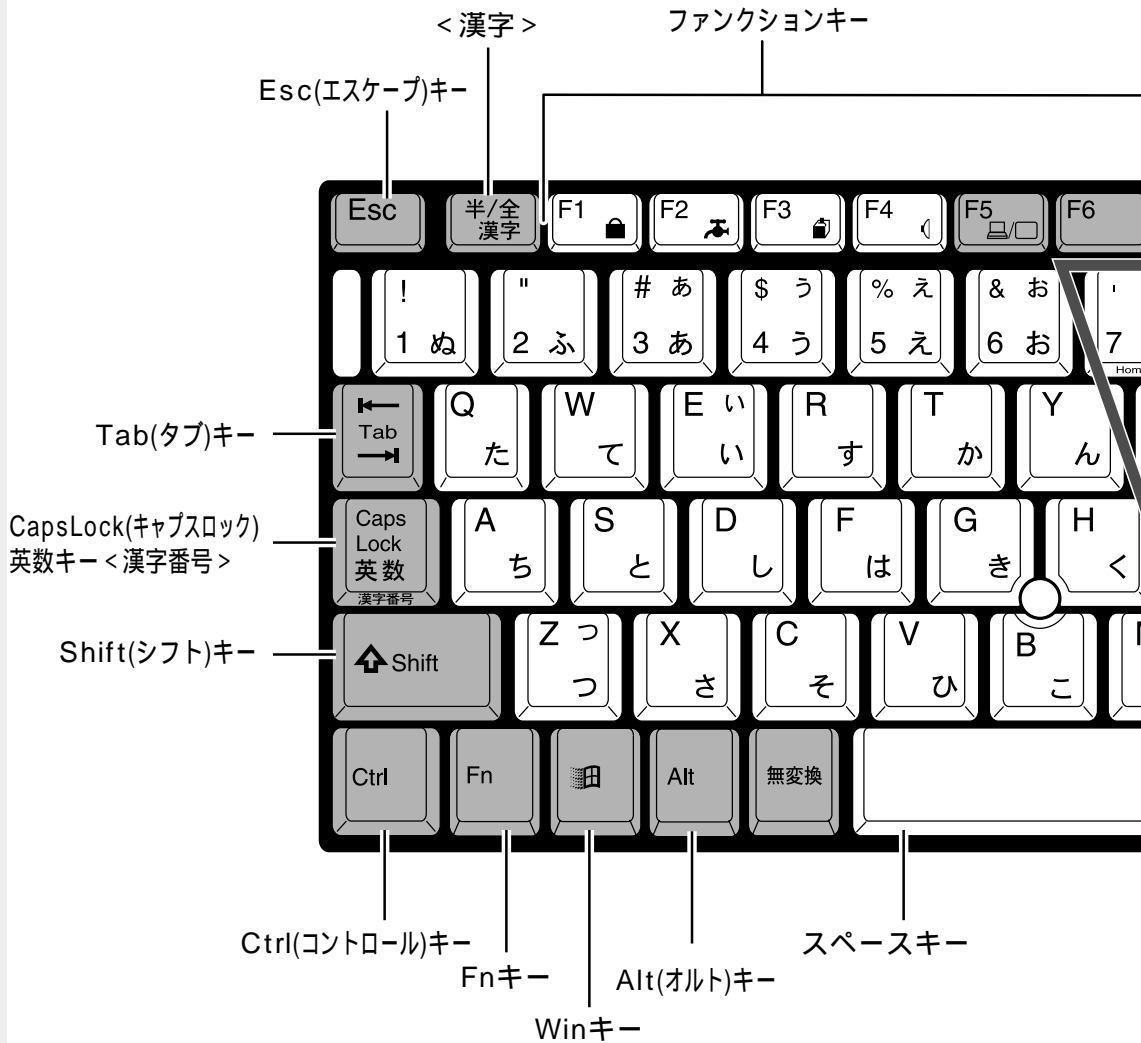


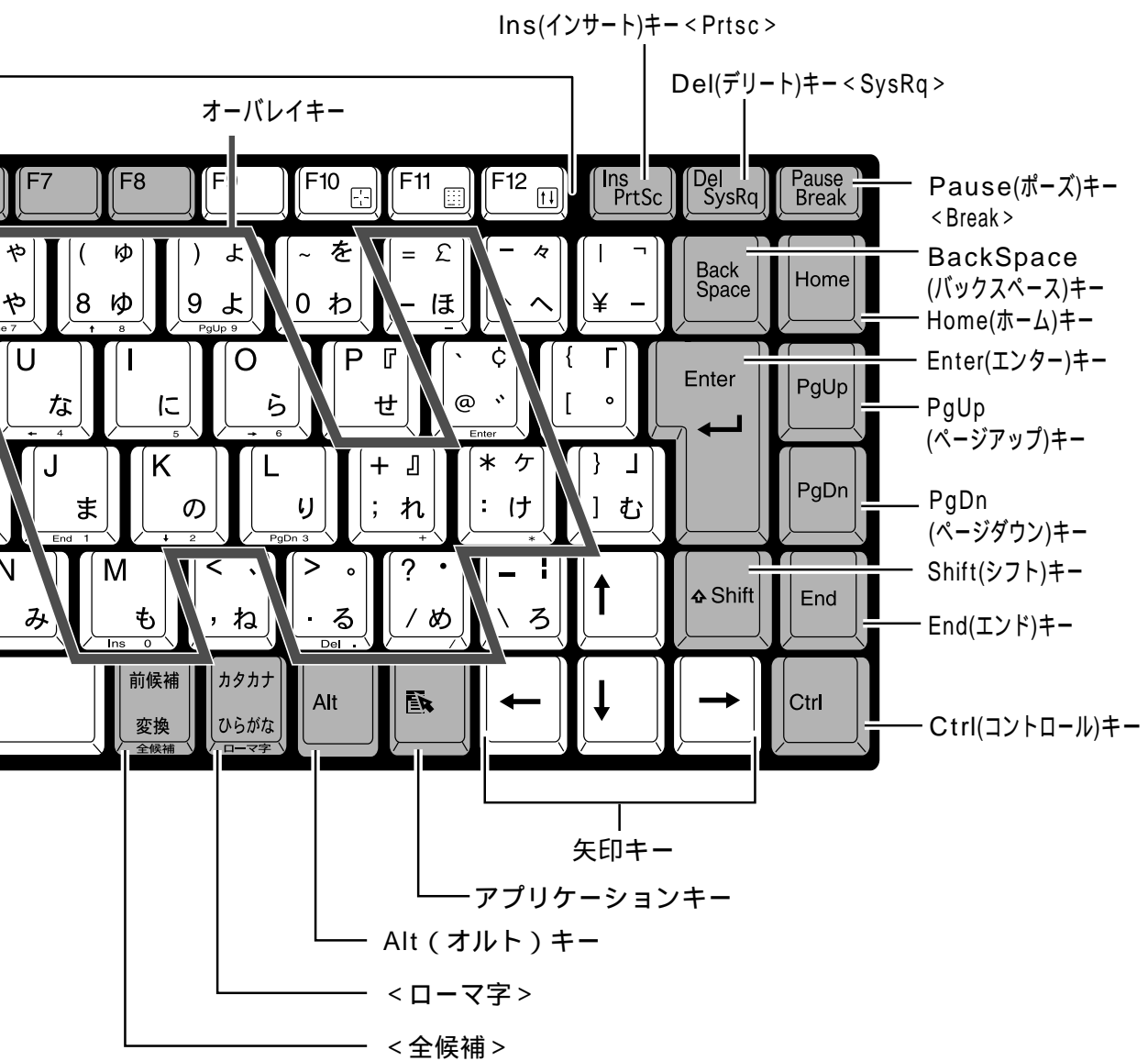
メモ

- アクュポイント とPS/2 マウスを同時に使用するときは、ホイール付きマウスの使用をおすすめします。
- アクュポイント とPS/2 マウスを同時に使用する設定をした場合、PS/2 マウスの仕様によっては、アクュポイント およびPS/2 マウスを同時に使用できなくなる場合があります。この場合は、PS/2 マウスだけの使用に設定してください。

6 キーボード

キーボードの使い方はソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。





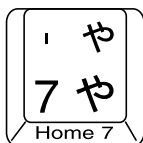
・キーボードに印刷されている「£」、「¢」、「々」などの文字は、直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照してください。

● 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを文字キーと呼びます。

文字キーには2～6種類の文字や記号が印刷されています。どの文字や記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。

文字キーに印刷された文字や記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。






入力したい文字や記号	入力操作	内容
左上の文字や記号	[Shift] キーを押しながら押す	記号やアルファベットの大文字が入力できます（この場合は「'」）。 ☞ 「本節 - 主なキーの呼び方と役割」
右上の文字や記号	カナロック状態で [Shift] キーを押しながら押す	記号、カタカナの促音、拗音が入力できます（この場合は「ヤ」）。 ☞ カナロック状態 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」
左下の文字や記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小文字が入力できます（この場合は「7」）。
右下の文字や記号	カナロック状態で押す	カタカナや記号が入力できます（この場合は「ヤ」）。 ☞ カナロック状態 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」
前面左の文字や記号	アロー状態のときに押す または [Fn] + [Shift] キーを押しながら押す	カーソル制御キーとして使えます（この場合は [Home] キー）。 ☞ アロー状態 ☞ 「本節 - [Fn] キーを使った特殊機能キー」
前面右の文字や記号	数字ロック状態のときに押す または [Fn] キーを押しながら押す	テンキーとして使えます（この場合は「7」）。 ☞ アロー状態 ☞ 「本節 - [Fn] キーを使った特殊機能キー」



メモ

- ・ ` (チルダ) を入力する場合は、[Shift] キー + キーを入力してください。
[Shift] キー + キーを押しても入力できません。
- ・ (バックスラッシュ) を入力すると、「¥」と表示されます。





● 主なキーの呼び方と役割

キー	内容
Esc (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
Shift (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
Alt (オルト)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
Ctrl (コントロール)	
 (ウィン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
Space (スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
 (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
Fn (エフエヌ)	オーバーレイキーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
Ins (インサート)	文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。
Del (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
 (矢印)	カーソル移動などに使います。
Enter (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
F1 ~ F12 (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。









● 入力に関する制御キー






キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
  Ctrl + CapsLock 英数	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
  Ctrl + Shift + カタカナ / ひらがな	
Shift + CapsLock 英数	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。










Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
<p>Fn + F1 インスタントセキュリティ機能</p>	<p>表示画面をオフにし、キーボードやマウスから入力できなくします。</p> <p>解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、Enterキーを押します。</p> <p>パスワードを設定していない場合はEnterキーまたはF1キーを押します。</p>
<p>Fn + F2 省電力モードの設定</p>	<p>  Fn + F2キーを押すと、設定されている省電力ユーティリティの省電力モードが反転表示されます。</p> <p>Fnキーを押したまま、F2キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。</p> <p>  省電力モードを切り替えます。</p> <p>→フルパワー ハイパワー ミディアムパワー ローパワー ユーザ設定</p>
<p>Fn + F3 電源 ON / OFF 時に使用する機能の選択</p>	<p> Fn + F3キーを押すと、電源を切る状態（シャットダウン、スタンバイ、ハイバネーションなど）のメニューが表示されます。</p> <p>Fnキーを押したまま、F3キーを押すたびに、電源を切る状態が切り替わり（反転表示）、Fnキーを離すと、切り替わった状態で電源が切れます。</p> <p> 起動モードを切り替えます。</p> <p>→ブート サスペンド/レジューム</p> <p> Fn + F3キーを押すと、電源を切る状態（スタンバイ、休止状態、電源オフなど）のメニューが表示されます。</p> <p>Fnキーを押したまま、F3キーを押すたびに、電源スイッチを押したときの動作が切り替わり（反転表示）ます。</p> <p> レジューム機能（サスペンド）を有効にするか無効にするかを選択します。</p> <p>→Boot サスペンド/レジューム（メモリ）</p>

<p>Fn + F4 アラーム音量の調節</p>	<p>アラーム音量を調節します。ピープ音で音量を知らせます。 Fnキーを押したまま、F4キーを押すたびに音量が変わります。 └Off 小 中 大┘</p>
<p>Fn + F5 表示装置の切り替え</p>	<p>表示装置を切り替えます。 Fn + F5キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。 └LCD LCD / CRT CRT LCD / TV TV┘ LCD : 液晶ディスプレイ、CRT : CRTディスプレイ、TV : テレビなど ☞ 表示装置の切り替えについて ☞ 「4 章 9 テレビへの接続」 ☞ 「4 章 11 CRTディスプレイの接続」</p>
<p>Fn + Esc ディスプレイの輝度調節</p>	<p> 98 設定されているディスプレイの輝度を調節します。 Fnキーを押したまま、Escキーを押すたびに、輝度の値が切り替わり、Fnキーを離すと、輝度が実際に切り替わります。</p>
<p>Fn + キートップの前面左側に印刷された文字のキー</p>	<p>キートップ前面左側に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。</p>
<p>Fn + F10 (アロー状態) オーバーレイ機能</p>	<p>アロー状態を解除するには、もう1度 Fn + F10 キーを押します。</p>
<p>Fn + Shift + キートップの前面右側に印刷された文字のキー</p>	<p>キートップ前面右側に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。</p>
<p>Fn + F11 (数字ロック状態) オーバーレイ機能</p>	<p>数字ロック状態を解除するには、もう1度 Fn + F11 キーを押します。</p>
<p>Fn + F12 (スクロールロック状態)</p>	<p>一部のアプリケーションで     キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう一度 Fn + F12 キーを押します。</p>

キーを使ったショートカットキー

キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
 + R	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
 + M	すべてをアイコン化する
Shift +  + M	すべてのアイコン化を元に戻す
 + F1	Windows ヘルプを起動する
 + E	Windows エクスプローラを起動する
 + F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl +  + F	他のコンピュータを検索する
 + Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
 + Break	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内容
システムの再起動	Ctrl + Alt + Del	 プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。  Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面コピー	Fn + Ins	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	Alt + Fn + Del	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願い

- ・ Windows 98 / 95 の場合、システムが操作不能になったとき以外は **Ctrl**+**Alt**+**Del** キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

日本語入力システム

本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。MS-IME のバージョンはお使いになるシステムによって異なります。

MS-IME2000 : Windows 2000 モデル
すべてのシステムのアプリケーションモデル

MS-IME98 : Windows 98 モデル

MS-IME97 : Windows 95 / NT モデル

日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。


MS-IME2000 / MS-IME98



MS-IME97



ここをクリックし、メニューから「ひらがな」または「全角ひらがな」を選択する



タスクバーの  をクリックし、「日本語入力-オン」を選択する

Alt + **半/全** キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン  または  をクリックし、[全般] タブで「ローマ字入力/かな入力」の設定を変更してください。

ローマ字入力とかな入力の切り替えは次の方法でも切り替えられます。

98 **95** : **Ctrl** + **CapsLock 英数** キー

2000 **NT** : **Ctrl** + **Shift** + **カタカナ/ひらがな** キー

漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、**Space** キーを押します。



目的の漢字ではない場合は、もう一度 **Space** キーを押して、他の漢字を表示します。

さらに **Space** キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

キーで選択し、**Enter** キーを押します。

☞ MS-IME の使い方 ☞ 『MS-IME のオンラインヘルプ』



・ツールバーのヘルプアイコン  または  をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

7 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

スピーカについて ⇨ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

システムスピーカについて ⇨ 「本節 2 システムスピーカについて」

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。

サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。サウンドに関する設定については、あわせて『Windows のヘルプ』や『ヤマハ DS-XG オーディオミキサのヘルプ』をご覧ください。


● ボリュームダイヤルで調整する

本体左側面のボリュームダイヤルで調整します。

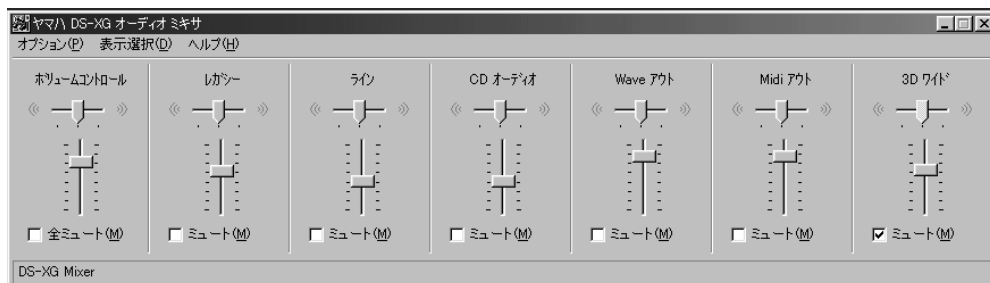
音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

⇨ ボリュームダイヤル ⇨ 「1 章 1 各部の名称」

● ヤマハ DS-XG オーディオミキサで調整する

- 1 タスクバー上の [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコン () をダブルクリックする

「ヤマハ DS-XG オーディオミキサ」が起動します。



(表示例)

- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。ミュートをチェックすると消音となります。

詳しくは、『ヤマハ DS-XG オーディオミキサのヘルプ』をご覧ください。

● ボリュームコントロールで調整する

- 1 次の方法で「ボリュームコントロール」を起動する

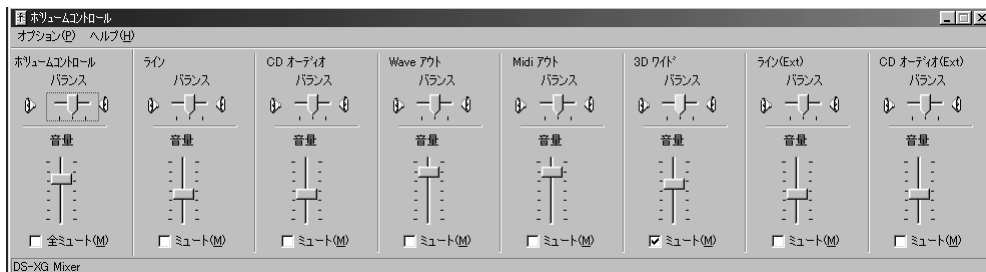
 

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[ボリュームコントロール]をクリックする

95 NT

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[マルチメディア]-[ボリュームコントロール]をクリックする

ボリュームコントロールが起動します。




(表示例)

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。ミュートをチェックすると消音となります。

詳しくは、『ボリュームコントロールのヘルプ』をご覧ください。

● [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコンから調整する

タスクバーの [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコン () からスピーカの音量を調整することもできます。

1 タスクバー上の [ヤマハ DS-XG ランチャ] アイコン () をクリックする 次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



メモ

- ・[ミュート] をチェックすると消音になります。
- ・使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
 - ・本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
 - ・使用しているアプリケーションソフトの設定を変える
 - ・外部マイクをスピーカから離す

② システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす／鳴らさないの設定ができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。また、あわせて、音量の調整もできます。

● 設定方法

● Windows 98 / 95 の場合

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする
- 3 [Hardware Alarm] タブで設定する
鳴らす場合は [System Beep] をチェックします。
音量は [Alarm Volume] のスライダーバーで調整します。

● Windows 2000 の場合

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [HW セットアップ]をダブルクリックする
- 3 [サウンド] タブで設定する
鳴らす場合は [システムビープを鳴らす] をチェックします。
音量は [スピーカ音量] のスライダーバーで調整します。

● Windows NT の場合

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [省電力]をダブルクリックする
- 3 利用する省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする
- 4 [その他] タブで設定する
鳴らす場合は [システムビープを鳴らす] をチェックします。
音量は [スピーカ音量] のスライダーバーで調整します。



・システムスピーカの音量の調整は、**[Fn] + [F4]**キーを使用して変更することもできます。
☞ 「本章 6-**[Fn]**キーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

1	電源を入れる	46
2	初めて電源を入れるとき	48
3	電源を切る	76
4	オンラインマニュアルの起動	89

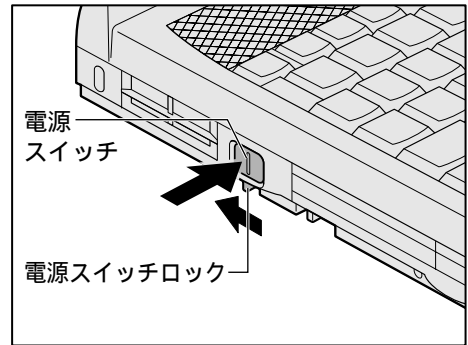
1 電源を入れる



注意 ・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。

- 1 フロッピーディスク装置に何もセットされていないことを確認する
- 2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 3 電源スイッチロックを解除し、Power LED が点灯するまで、電源スイッチを押す

Power LED が緑色に点灯します。パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。



スタンバイ機能 (98 2000)、サスペンド機能 (95 NT)、ハイバネーション機能 (98 95 2000) を実行した場合は、電源を切る直前の状態が再現されます。これらの機能を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。



メモ

- ・スタンバイ/サスペンド機能、ハイバネーション機能とは、次に電源を入れたとき、終了した時点から作業が行える機能です。スタンバイ/サスペンド機能はデータをメモリに保持し、ハイバネーション機能はハードディスクに保持します。
 - ・スタンバイ/サスペンド機能を実行して電源を切ると、スタンバイ中/サスペンド中は Power LED がゆっくりとオレンジ色に点滅します。
 - ・Windows 98 / 95 の場合は、初めて電源を入れたとき、[Windows セットアップの確認] の画面が表示されます。Windows 2000 / NT の場合は、システムの選択画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、Windows のセットアップを行なってください。
- ☞ セットアップの方法 ☜ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

- 4 電源スイッチロックを有効 (手前) にする

操作中に誤って電源スイッチを押してしまわないように、電源スイッチロックを必ず有効にしておいてください。

● パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

```
Password=
```

設定したパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押してください。



メモ

- ・スタンバイ機能()、サスペンド機能()またはハイバネーション機能()を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
 - ・パスワードの入力ミスで3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。
- ☞ パスワードについて ☞ 「6章 2 パスワードセキュリティ」

● 次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

(1)

```
Bad x x x x x x x x
```

この場合は**[F1]**キーを押して、セットアップ画面を表示させます。**[Home]**キーを押して標準に設定してください。

[End] キーを押して終了し、**[Y]** キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

☞ セットアップ画面について

☞ 「6章 1-1 セットアッププログラムを起動する方法」

(2)

```
WARNING: x x x x x
```

この場合は、**[Enter]** キーを何回か押してください。

(3)

```
WARNING RESUME FAILURE  
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.
```

スタンバイ機能()、サスペンド機能()によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

(4)

```
WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE  
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.
```

ハイバネーション機能()によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る直前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

② 初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。

1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には、次のモデルがあります。

- ・Windows 98 モデル
- ・Windows 95 モデル
- ・Windows 2000 / NT モデル

セットアップ方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。



お願い

・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードのみを接続して行ってください。PC カード、プリンタ、マウスなどの周辺機器は取りはずしておいてください。

☞ 電源の接続方法について ☞ 「1 章 3-2 電源に接続する」

「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。

・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

・「Windows セットアップ」を行う前に、30 分以上キーを押さない（アキュポイント の操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、**[Shift]** キーを押すか、アキュポイント を動かしてください。

・「Windows セットアップ」は、カスタム・リカバリ CD (**98** **95**) またはリカバリ CD (**2000** **NT**) でシステムの復元を行なった場合も必要です。

① Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは、次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分程で終了します。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みにになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、**[同意する]** を選択しないと、Windows を使用することはできません。

日付と時刻の設定

[日付と時刻のプロパティ] 画面でパソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。



お願い

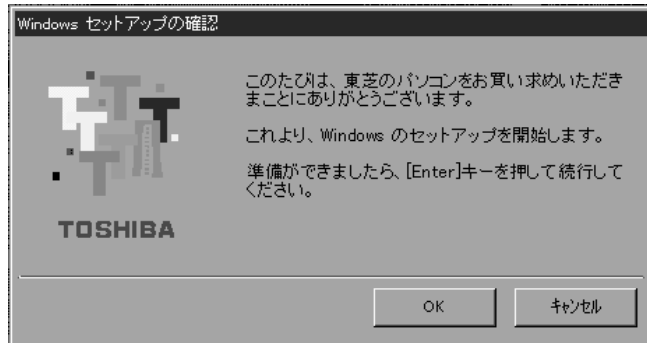
・Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。

このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。

紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

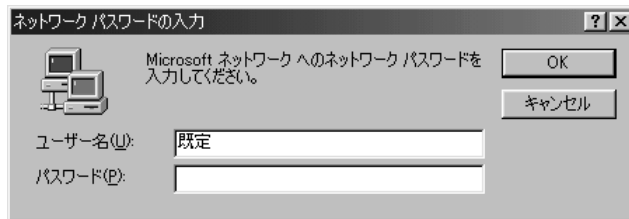
初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。



2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が入力できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt] キーを押したまま、[半/全] キーを押してください。



メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。



漢字に変換する場合は、[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**[Tab]** キーを押します。

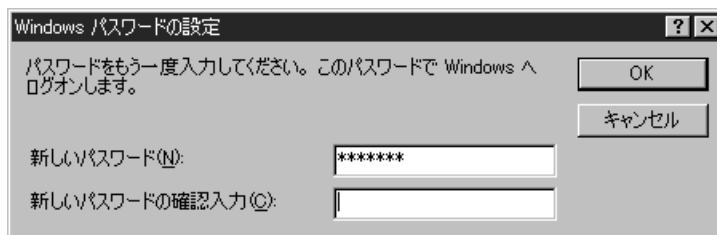
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・全角文字（2バイト文字）・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift]キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、（チルダ）など・¥（エン）  キーや  キーを押すと¥が入力されます。	

入力したパスワードは「****」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



- 4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする
[ようこそ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Del]キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Del]キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

- 5 [Esc]キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は[M]キーを押してください。

入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。



6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、**[Tab]** キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム (MS-IME) を起動します。**[Alt]** キーを押したまま、**[半/全]** キーを押してください。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] 画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、**[Tab]** ボタンをクリックするか、**[PgUp]** キー、**[PgDn]** キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



8 画面の [同意する] をチェック (左側の 印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了] 画面が表示されます。



- 9** [完了]ボタンをクリックする
[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。



- 10** [日付]と[時刻]が正しく設定されているか確認する
正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用]ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。
- 11** [タイムゾーン]で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する
「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。
- 12** [閉じる]ボタンをクリックする
[日付] [時刻] [タイムゾーン]を変更した場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。Windowsのセットアップが終了し、Windowsのデスクトップ画面が表示されます。



メモ

・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 5 ユーザ登録をする」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

② Windows 95 のセットアップ

Windows 95 のセットアップでは、次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分程で終了します。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意
するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows
を使用することはできません。

Product ID 入力

パソコン本体に貼られているラベルに印刷されている Product ID を入力します。

ラベルはパソコン本体の裏側に貼られているので、セットアップを開始する前に紙な
どに書き写しておいてください。

日付と時刻の設定

[日付と時刻のプロパティ] 画面でパソコンの日付と時刻を設定します。セットアッ
プ後に変更することが可能です。

プリンタウィザード

使用するプリンタを選択します。セットアップ後に設定することができますので、こ
こでは設定しません。

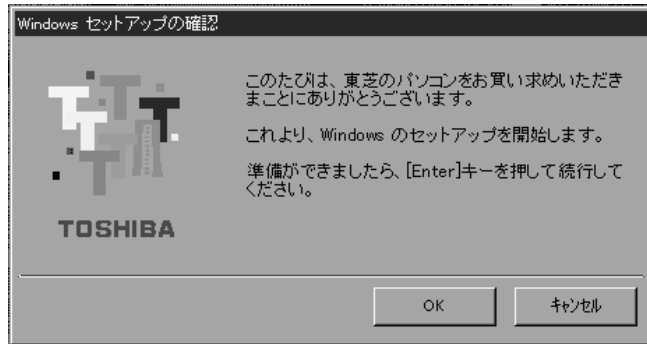


お願い

- ・ Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ユーザー情報] の画面が表示されます。



2 名前と会社名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。会社名を入力するには、名前を入力した後、[Tab] キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は、[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

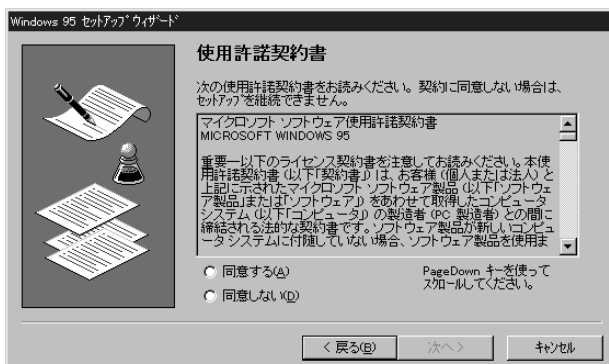
[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 [次へ] ボタンをクリックする

[使用許諾契約書] の画面が表示されます。マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、**上** ボタンをクリックするか、**[PgUp]** キー、**[PgDn]** キーを使って画面をスクロールしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



4 画面下部の [同意する (A)] をチェック (左側の 印をクリック) して [次へ] ボタンをクリックする



・[同意しない (D)] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[Certificate of Authenticity] の画面が表示されます。



5 Product IDを入力する

Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
セットアップ画面では『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』表紙と
なっていますが、実際にはパソコン本体の裏側にラベルが貼られています。

【例】

XXXXXX - OEM - XXXXXXXX - XXXXXX

入力を間違えた場合は、**[BackSpace]** キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・ Product ID は、1 度入力して確定すると変更することはできませんので、正確に入力してください。
- ・ Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは、絶対になくさないでください。紛失すると Windows のセットアップはできなくなります。再発行はできません。
紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[ウィザードの開始] の画面が表示されます。



7 [完了] ボタンをクリックする

パソコンの環境設定を行います。

パソコンの環境設定が終了すると [日付と時刻のプロパティ] の画面が表示されます。



8 [タイムゾーン] タブで「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていない場合は ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

9 [日付と時刻] タブをクリックし、日付および時刻を設定する

設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

10 [閉じる] ボタンをクリックする

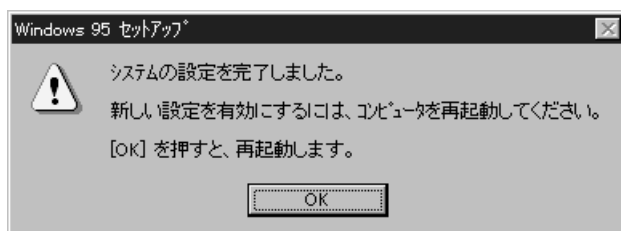
[プリンタウィザード] の画面が表示されます。



11 [キャンセル] ボタンをクリックする

プリンタの設定はセットアップ終了後に、Windows 上で行うことができるので、ここではプリンタの設定は行いません。

[Windows セットアップのシステム設定完了] の画面が表示されます。



12 [OK] ボタンをクリックする

Windows のシステムが起動されます。以上で操作は終了です。Windows のセットアップが完了し、パソコンが再起動します。再起動後は、Windows が起動します。



メモ

・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 5 ユーザ登録をする」

Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』をご覧ください。

3 Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。

また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows 2000 のセットアップでは、次のことを行います。

マイクロソフト 使用許諾契約書 (Windows のライセンス) への同意

マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

ユーザー情報の登録

名前、会社名 (省略可能) と組織名を登録します。

コンピュータ名の指定

使用するコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力します。

コンピュータ名は自動で作成されます。変更することもできます。

コンピュータ名の付け方に関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

日付と時刻の設定

[日付と時刻の設定] 画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

ネットワークの設定

ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。

ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

- ・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

- 1** [Windows 2000] を選択し、[Enter] キーを押す
[] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。
[Enter] キーを押すと、確認画面が表示されます。

- 2** [Windows 2000] と表示してあることを確認し、[F8] キーを押す



メモ

- ・ Windows NT に変更したい場合は、[F8] 以外のキーを押してください。
1つ前の画面に戻ります。その後、Windows NT のセットアップの手順に従ってください。
- ☞ Windows NT のセットアップについて ☞ 「本節 4 Windows NT のセットアップ」

- 3** セットアップ終了のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押す

パソコンが再起動し、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

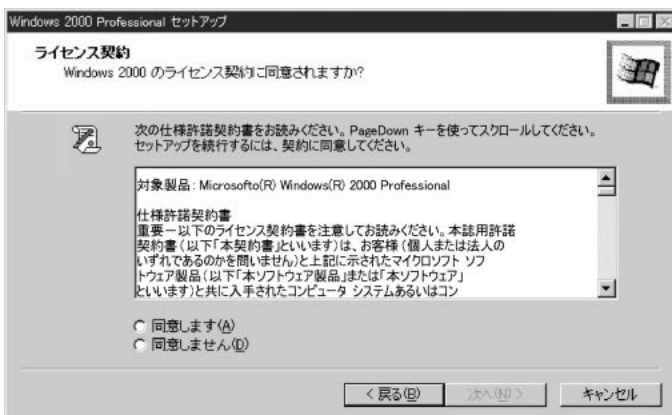


- 4** [次へ (N)] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] の画面が表示されます。

契約内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか [PgUp] キー、
[PgDn] キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、
セットアップを続けることはできません。



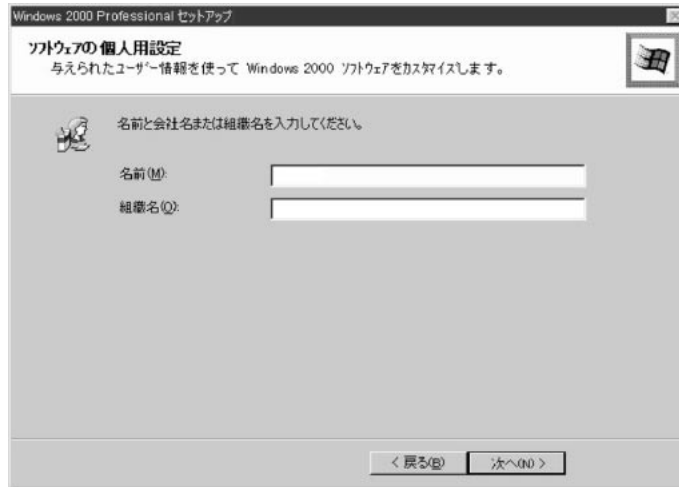
5 画面下部の [同意します(A)] をチェックして [次へ (N)] ボタンをクリックする



メモ

・[同意しません (D)] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ソフトウェアの個人用設定] 画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた” または “中田” と入力する場合

1 **N A K A T A** とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

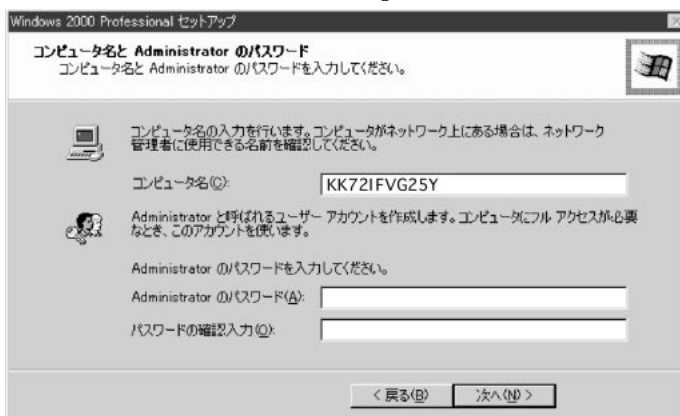
“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は **Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



8 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で 15 字以内の名前を入力してください。

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。

例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



10 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

- 11** [次へ(N)] ボタンをクリックする
[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



- 12** ネットワークの設定をする
ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



メモ

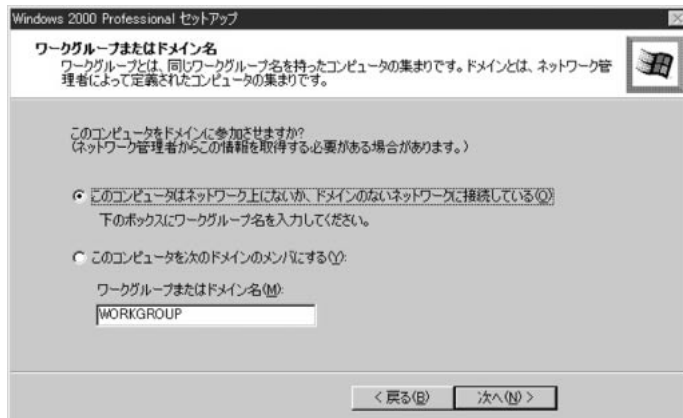
- ・標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- ・カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。



お願い

- ・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 13** [次へ(N)] ボタンをクリックする
[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



14 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。
選択後、[ワークグループまたはドメイン名]にワークグループ(ドメイン)名を入力してください。



お願い

・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ(ドメイン)名が異なります。
必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

15 [次へ(N)] ボタンをクリックする

設定の保存後、[Windows 2000 セットアップウィザード完了]画面が表示されます。



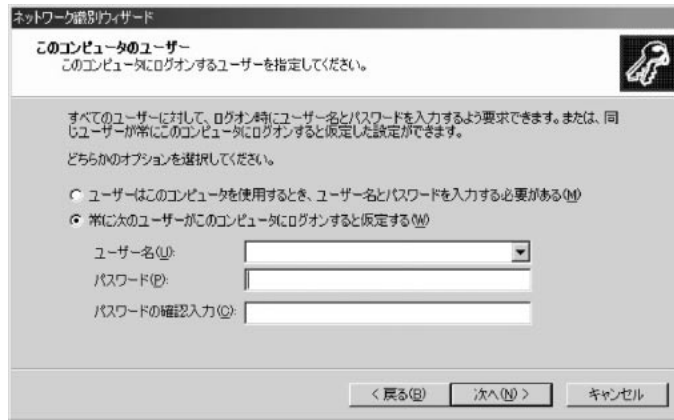
16 [完了] ボタンをクリックする

再起動します。再起動後に[ネットワーク識別ウィザードの開始]画面が表示されます。
ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



17 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー]画面が表示されます。

**18** ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

[ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある]

...指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

[常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する]

...指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順6で入力した名前、あるいは Administrator です。

ボタンをクリックして選択してください。

19 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了]画面が表示されます。

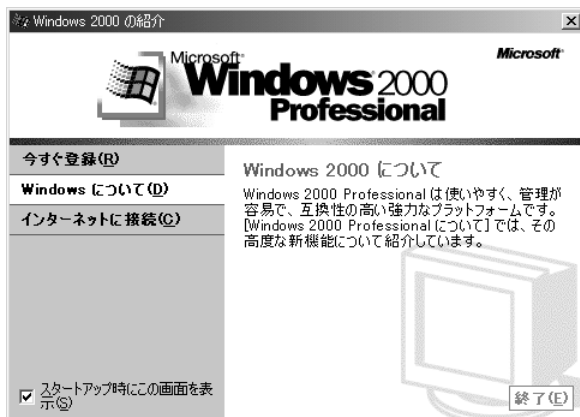


20 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 18 で [ユーザーはこのコンピュータを使用するとき...] を選択した場合、[Windows へのログオン] 画面が表示されます。Administrator パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。

手順 18 で [常に次のユーザーがこのコンピュータに...] を選択した場合、指定されたユーザー (Administrator または例: 中田) で自動的にログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。



メモ

- ・ [Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス (スタートアップ時にこの画面を表示) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [Windows 2000 の紹介] は表示されません。

☞ [Windows 2000 の紹介] 画面を再表示する方法

☞ [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする

- ・ Windows 2000 を選択された場合は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ: 約 4GB、NTFS システム

ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクの管理を使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。

「ディスクの管理」の詳細は、Windows 2000 のヘルプをご覧ください。

- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 5 ユーザ登録をする」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、『クイックスタートガイド』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

4 Windows NT のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。

セットアップ方法についてはお客様がお使いになりたい方の手順をご覧ください。また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

Windows NT のセットアップでは、次のことを行います。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

コンピュータ名の登録

ネットワーク上でパソコンを個別に認識するために、コンピュータ名の登録を行います。コンピュータ名の付け方は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

セットアップ終了後に、Administrator パスワードの設定と、システム修復ディスクの作成を行なってください。

☞ 「本項 Administrator パスワードの設定 / 変更」

☞ 「本項 システム修復ディスクの作成」

セットアップ終了後に、[コントロールパネル] - [日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻の設定を行なってください。



お願い

- ・プロダクトID がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

1 [Windows NT] を選択し、**Enter** キーを押す

キーで選択し、**Enter** キーで確定します。
Enter キーを押すと、確認画面が表示されます。

2 [Windows NT] と表示してあることを確認し、**F8** キーを押す



メモ

- ・Windows 2000 に変更したい場合は、**F8** 以外のキーを押してください。
1つ前の画面に戻ります。その後、Windows 2000 のセットアップの手順に従ってください。
- ☞ Windows 2000 のセットアップについて ☞ 「本節 3 Windows 2000 のセットアップ」

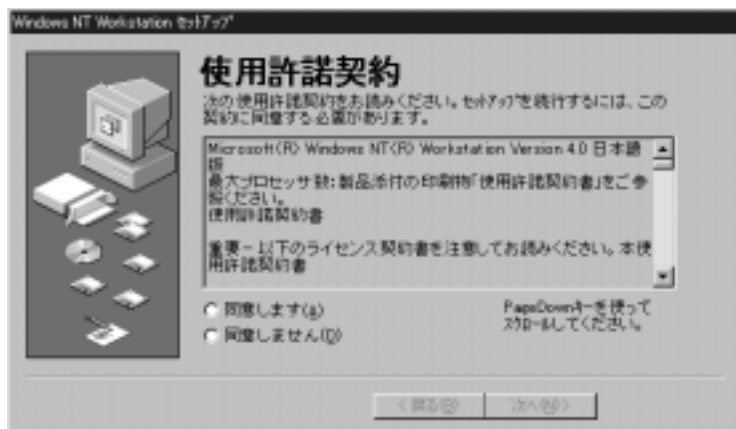
3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら **Enter** キーを押す

パソコンが再起動し、[Windows NT セットアップ] 画面が表示されます。



4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[使用許諾契約] 画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、**次へ(N)** ボタンをクリックするか **[PgUp]** キー、**[PgDn]** キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

5 画面下部の [同意します(A)] をチェック (左側の 印をクリック) して [次へ(N)] ボタンをクリックする



・[同意しません(D)] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[名前と組織名] 画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 **N** **A** **K** **A** **T** **A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**BackSpace** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は **Space** キーを押す、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**Enter** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[コンピュータ名] 画面が表示されます。



8 コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

・コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrator 権限でログオンし、[コントロールパネル] の [ネットワーク] を起動して変更してください。

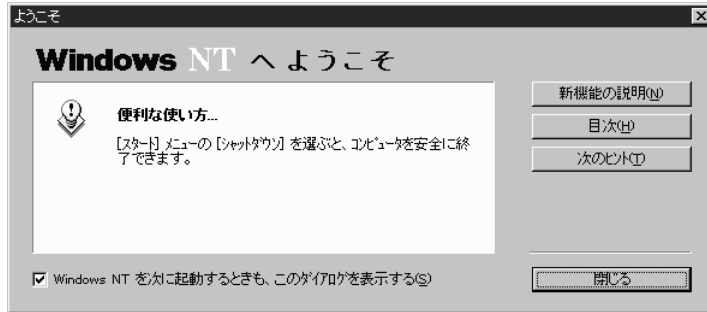
9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

[Windows NT セットアップ] 画面が表示されます。



10 [完了] ボタンをクリックする

Windows NTのセットアップが完了しました。パソコンが再起動し、[ようこそ]画面が表示されます。



この画面の [新機能の説明(N)] [次のヒント(T)] などのボタンをクリックすることにより Windows NT の概要を知ることができます。

Windows NT をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。



お願い

- ・[コントロールパネル]の[日付と時刻]アイコンをダブルクリックし、[日付と時刻]タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。



メモ

- ・[ようこそ]の下部にあるチェックボックス(Windows NT を次に起動するときも、このダイアログを表示する)をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows NT が起動したときは [ようこそ] は表示されません。

ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。

☞ [ようこそ]ダイアログボックスを再表示する方法 ☞ 『Windows NT のヘルプ』

- ・Windows NT を選択すると、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ: 約 4GB、NTFS システム

ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。

「ディスクアドミニストレータ」の詳細は、Windows NT のヘルプをご覧ください。

- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 5 ユーザ登録をする」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、[スタート]-[ヘルプ]をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

Administrator パスワードの設定 / 変更

セットアップ直後の初期状態では、Administrator のパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。

セットアップ作業から継続している方は、手順 1 と 4 は必要ありません。



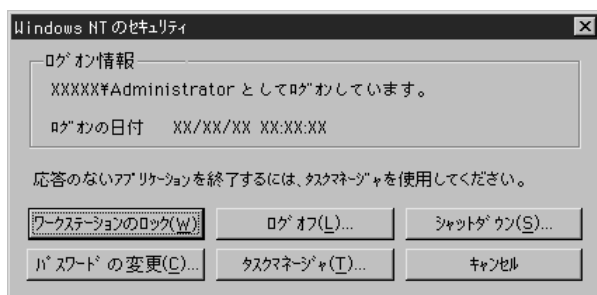
お願い

- ・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

1 Administrator でログオンする

2 **Ctrl**+**Alt**+**Del** キーを押す

[Windows NT のセキュリティ] 画面が表示されます。



3 [パスワードの変更 (C)] ボタンをクリックする

[パスワードの変更] 画面が表示されます。



4 [古いパスワード (O)] ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する

初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。

入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。

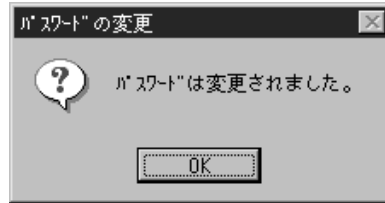
5 [新しいパスワード (N)] ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する

入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。

6 [新しいパスワードの確認入力 (C)] ボックスに、同じパスワードを入力する

入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。

- 7** [OK] ボタンをクリックする
パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。



- 8** [OK] ボタンをクリックする
[Windows NT のセキュリティ] 画面に戻ります。

- 9** [キャンセル] ボタンをクリックする
新しいパスワードは、次回から有効になります。

システム修復ディスクの作成

システム修復ディスクを作成しておく、システムファイルが破損した場合に、セットアップが完了した直後の状態にシステムを復元することができます。

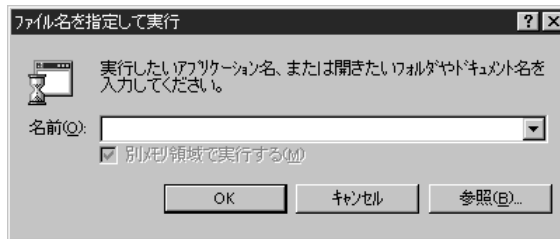
2HD 形式 / 1.44MB でフォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚ご用意ください。



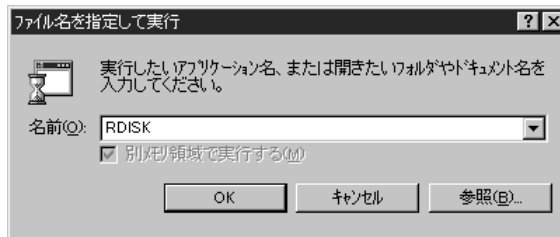
お願い

・システム修復ディスクを作成すると、フロッピーディスクに入っているデータはすべて消えてしまいます。作業の前に、フロッピーディスクに何も保存していないことをご確認ください。

- 1** [スタート]-[ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

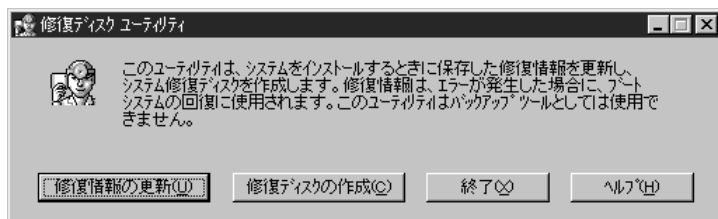


- 2** [名前 (O)] ボックスに「RDISK」と入力する



3 [OK] ボタンをクリックする

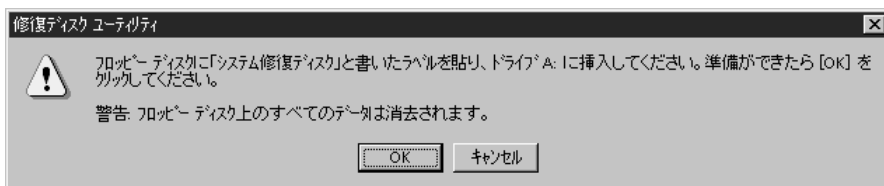
[修復ディスクユーティリティ] 画面が表示されます。



システム修復ディスクの詳細については、[ヘルプ] ボタンをクリックして、ヘルプをご覧ください。

4 [修復ディスクの作成 (C)] ボタンをクリックする

次のメッセージが表示されます。

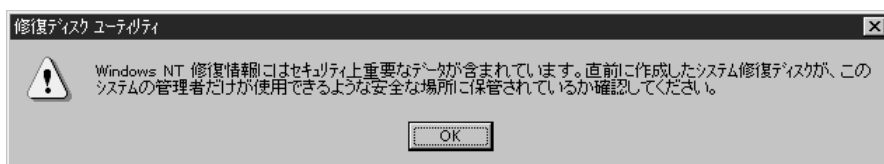


5 2HD 形式 / 1.44MB フォーマットのフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットする

6 [OK] ボタンをクリックする

システム修復ディスクの作成が始まります。

システム修復ディスクの作成が終了すると、次のメッセージが表示されます。



7 [OK] ボタンをクリックする

[修復ディスクユーティリティ] 画面に戻ります。

8 [終了 (X)] ボタンをクリックする

9 フロッピーディスク装置から、システム修復ディスクを取り出す

システム修復ディスクは、分かりやすいようにラベルなどを貼り、大切に保管してください。

☞ システム修復ディスクについて

☞ 『システム修復ユーティリティのヘルプ』 『Windows のヘルプ』

5 ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝と Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットを使って登録する場合は、モデムなどが必要です。また、インターネットをご利用になるにはプロバイダとの契約が必要です。

LAN を使ってインターネットをご利用になる場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

● 東芝へのユ - ザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

● Microsoft 社へのユ - ザ登録

Windows 2000 / NT の場合、はがきで登録できます。

Windows 98 / 95 / 2000 の場合、インターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

98

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[Windows へようこそ]で [今すぐ登録] をクリックする

95

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[オンライン登録] をクリックする

2000

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[はじめに]で [今すぐ登録] をクリックする

3 電源を切る

パソコン本体の電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

- ・シャットダウン機能
- ・スタンバイ機能 ( )
- ・サスペンド機能 ( )
- ・ハイバネーション機能 (  )

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつかの方法があります。

● シャットダウン機能

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ります。

● スタンバイ / サスペンド機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。
次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
ハイバネーション機能に比べて、状態の再現がすばやく行われます。
しかし、ハイバネーション機能実行時よりもバッテリーを消耗しますので、AC アダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。



お願い

- ・スタンバイ / サスペンド機能を実行中にバッテリーを使い切ったとき、またはバッテリーパックを取りはずしたときは、スタンバイ / サスペンド機能が無効になります。また、データが消失するおそれがあります。



● ハイバネーション機能

電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。
スタンバイ / サスペンド機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
ハイバネーション機能を実行するには、あらかじめ設定が必要です。
ご購入時は有効に設定されています。

* Windows NT にはハイバネーション機能はありません。

- ☞ シャットダウン、スタンバイ / サスペンド、ハイバネーション機能
⇒ 「5 章 1 消費電力を節約する」



- 注意**
- ・ Disk  LED または FDD / CD-ROM  LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンや CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-ROM 装置が壊れるおそれがあります。
 - ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。



お願い

- ・必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
- ・周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・ハイパネーション機能が実行されている間は、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LEDが点灯し続けます。LEDが点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・スタンバイ/サスペンド機能、ハイパネーション機能を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。
- ・スタンバイ/サスペンド機能を実行して電源を切った状態でバッテリーパックを取りはずすと、データが消失します。

1 Windows 98 の場合

方法 1 - [スタート]メニューから Windows を終了する (シャットダウン機能)

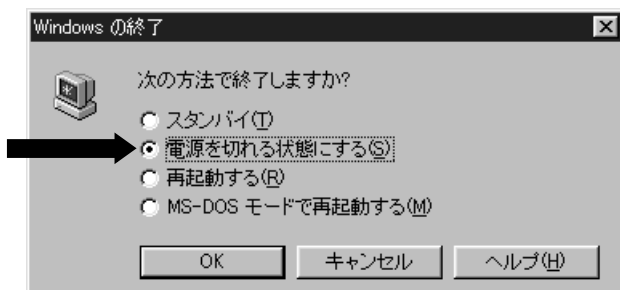
1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 [スタート] - [Windows の終了 (U)] を選択する



(表示例)

3 [電源を切れる状態にする (S)] がチェックされていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



メモ

- ・この方法で電源を切るとスタンバイ機能やハイパネーション機能は実行されません。

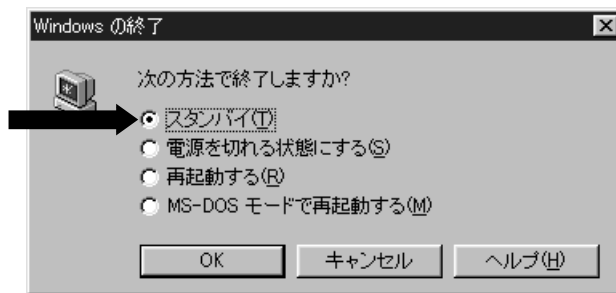
● 方法 2 - [スタート]メニューからスタンバイ機能を実行する

1 [スタート] - [Windows の終了 (U)] を選択する



(表示例)

2 [スタンバイ (T)] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
スタンバイ機能を実行して終了します。



メモ

- ・スタンバイ機能を実行すると、ハイバネーション機能実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリーで使用する場合は、ハイバネーション機能を使用することをおすすめします。

方法 3 - [スタート]メニューからハイバネーション機能を実行する

あらかじめ [コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、ハイバネーション機能を有効にしておきます。

1 [スタート] - [ハイバネーション] を選択する

ハイバネーション機能を実行して終了します。

[スタート]メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)

方法 4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源をスイッチを押したときに実行したい処理 (機能) を選択する

[コントロールパネル] - [省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい処理 (機能) を選択します。

☞ 省電力モードについて ☞ 「5章 1 消費電力を節約する」



メモ

・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 電源スイッチを押す

● 方法 5 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理 (機能) を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[電源設定] タブ-利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック-[動作] タブ-[コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理 (機能) を選択します。

☞ 省電力モードについて ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」

スタンバイ機能またはハイバネーション機能を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

● 方法 6 - [Fn] + [F3] キーを使う

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。
ハイバネーション機能を実行するには、設定が必要です。

1 [Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押す

画面が表示されます。

2 [Fn] キーを押したまま、[F3] キーを押す、実行したい処理 (機能) を選択する

[F3] キーを押すたびに、処理 (機能) が切り替わります (反転表示)。

[Fn] キーを離すと選択した処理 (機能) を実行します。



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル]-[電源の管理]-[休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

● こんなときは

誤ってハイバネーション機能を実行してしまった場合、[BackSpace] キーでキャンセルすることができます。

ハイバネーション機能を実行すると、1 度画面が暗くなってから次の画面が表示されます。



画面が表示される前に [BackSpace] キーを押すと、1 度画面が暗くなってから、元の画面に戻ります。

画面が表示中に [BackSpace] キーを押すと、ハイバネーション機能は中断され、元の画面に戻ります。

② Windows 95 の場合

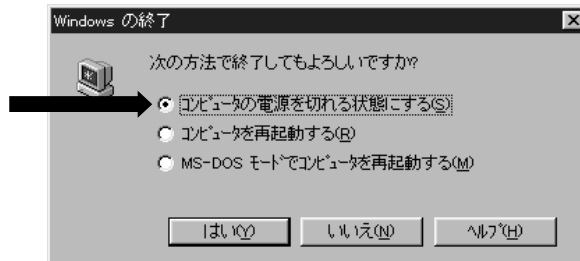
● 方法 1 - [スタート]メニューから Windows を終了する (シャットダウン機能)

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [Windows の終了 (U)] を選択する



(表示例)

- 3 [コンピュータの電源を切れる状態にする (S)] がチェックされていることを確認し、[はい (Y)] ボタンをクリックする



メモ

・この方法で電源を切るとサスペンド機能やハイバネーション機能は実行されません。

● 方法 2 - [スタート]メニューからサスペンドまたはハイバネーション機能を実行する

- 1 [スタート] - [サスペンド (N)] を選択する
サスペンド機能またはハイバネーション機能を実行して終了します。



(表示例)



メモ

・サスペンド機能とハイバネーション機能のどちらが実行されるかは、省電力ユーティリティ ([コントロールパネル] - [省電力] - [詳細設定] ボタン - [システム] タブ) の設定によります。

● 方法 3 - 電源スイッチを押す

シャットダウン機能、サスペンド機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[省電力モード]タブ-利用する省電力モードを選択し、
[詳細設定] ボタンをクリック-[システム] タブで、実行したい処理（機能）を選択します。

シャットダウン機能を実行する..... [ブート] を選択する

「東芝サービス」の設定により、シャットダウンプロセスを実行して Windows を終了します。

サスペンド機能を実行する..... [サスペンド/レジューム] を選択し、[ハイバネーションを有効にする] のチェックをはずす

ハイバネーション機能を実行する... [サスペンド/レジューム] を選択し、[ハイバネーションを有効にする] をチェックする

☞ 省電力モードについて ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」

2 電源スイッチを押す

● 方法 4 - ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

サスペンド機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[省電力モード] タブ-利用する省電力モードを選択し、
[詳細設定] ボタンをクリック-[システム] タブで [サスペンド/レジューム] を選択し、
[パネルを閉じたときサスペンド、開いたときレジュームする] をチェックします。

サスペンド機能を実行する..... [ハイバネーションを有効にする] のチェックをはずす
ハイバネーション機能を実行する... [ハイバネーションを有効にする] をチェックする

☞ 省電力モードについて ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」



メモ

・[システム] タブで [ブート] を選択した場合は、パネルスイッチ機能は働きません。

2 ディスプレイを閉じる

サスペンド機能またはハイバネーション機能が実行されます。

サスペンド機能またはハイバネーション機能を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、電源を切る直前の状態が再現されます。

● こんなときは

誤ってハイバネーション機能を実行してしまった場合、`BackSpace`キーでキャンセルすることができます。

ハイバネーション機能を実行すると、1度画面が暗くなってから次の画面が表示されます。



画面が表示される前に`BackSpace`キーを押すと、1度画面が暗くなってから、元の画面に戻ります。

画面が表示中に`BackSpace`キーを押すと、ハイバネーション機能は中断され、元の画面に戻ります。

2章

電源を入れて切るまで

3 Windows 2000 の場合

● 方法 1 - [スタート]メニューから Windows を終了する (シャットダウン機能)

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [シャットダウン (U)] を選択する



(表示例)

- 3 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



メモ

・この方法で電源を切るとスタンバイ機能やハイバネーション機能は実行されません。

● 方法 2 - [スタート]メニューからスタンバイ機能を実行する

- 1 [スタート] - [シャットダウン (U)] を選択する



(表示例)

- 2** [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
スタンバイ機能を実行して終了します。



メモ

- ・スタンバイ機能を実行すると、ハイバネーション機能実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリーで使用する場合は、ハイバネーション機能を使用することをおすすめします。

2章

電源を入れて切るまで

方法 3 - [スタート] メニューからハイバネーション機能を実行する

あらかじめ [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、ハイバネーション機能を有効にしておきます。

- 1** [スタート] - [シャットダウン(U)] を選択する



(表示例)

- 2** [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
ハイバネーション機能を実行して終了します。



● 方法 4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[電源設定] タブ-利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック-[動作] タブ-[電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[休止状態] タブの [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 電源スイッチを押す

● 方法 5 - ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[電源設定] タブ-利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック-[動作] タブ-[コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ☞ 「5 章 1 消費電力を節約する」

スタンバイ機能またはハイバネーション機能を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

4 Windows NT の場合

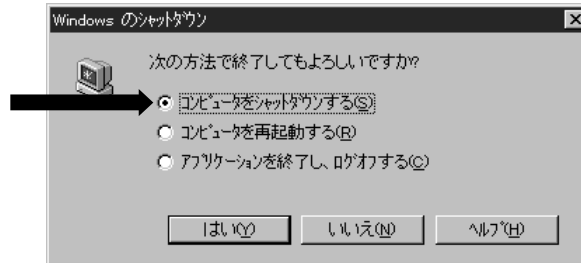
方法 1 - [スタート]メニューから Windows を終了する (シャットダウン機能)

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [シャットダウン (U)] を選択する



(表示例)

- 3 [コンピュータをシャットダウンする (S)] がチェックされているか確認して [はい (Y)] ボタンをクリックする



メモ

・この方法で電源を切ると、サスペンド機能は実行されません。

2
章

電源を入れて切るまで

● 方法 2 - [スタート]メニューからサスペンド機能を実行する

1 [スタート] - [サスペンド] を選択する

サスペンド機能を実行して終了します。

[スタート]メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)



メモ

・サスペンド機能には、一部制限があります。

☞ サスペンド機能について ☞ 「5章 1 消費電力を節約する」, 《リリース情報》

● 方法 3 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

サスペンド機能を実行できます。

あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 パネルスイッチ機能を有効に設定する

[コントロールパネル]-[省電力]-[省電力モード]タブ-利用する省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック-[システム]タブで[サスペンド/レジューム]を選択し、[パネルを閉じた時サスペンド、開いた時レジュームする]をチェックします。

2 ディスプレイを閉じる

サスペンド機能が実行されます。

サスペンド機能を実行して電源を切った場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、電源を切る直前の状態が再現されます。

4 オンラインマニュアルの起動

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがプレインストールされています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使い方などは、オンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルの起動方法は、次のとおりです。

1 パソコン本体の電源を入れる

☞ 「本章 1 電源を入れる」

Windows 画面が表示されます。

2 [スタート] - [オンラインマニュアル] をクリックする

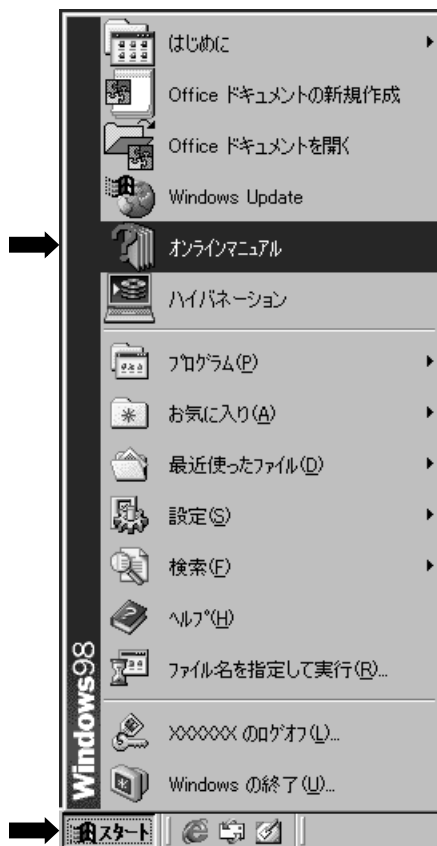
オンラインマニュアルが起動します。

表示の内容はあらかじめインストールされているソフトやお客様の設定により異なります。

* 画面は Windows 98 の表示例です。



・デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても、オンラインマニュアルを起動することができます。



(表示例)

2 章

電源を入れて切るまで

● オンラインマニュアルの内容

オンラインマニュアルを起動すると、次のような目次が表示されますので、その内容を簡単に説明します。

はじめに	オンラインマニュアル中の表示記号、ユーザ登録などについて
オンラインマニュアルの使い方	オンラインマニュアルの使い方について
ソフトウェア	本製品に用意されている各アプリケーションについて
こんなことがしたい	本製品をいろいろなことに活用する方法について
困ったときは	操作に行き詰まったときに、トラブルを解消する方法について
付録	製品の仕様について
用語集	知っておいた方がよいパソコン関係の用語について

● 検索する

[検索] タブで行います。

[検索] タブ 探したい語句を入力し、その語句が含まれるページをすべて検索します。